

別表「病床の医療機能」

医療機能の名称	病棟区分	内容	人員配置基準等	在宅復帰率等	備考
高度急性期機能	高度急性期	緊急性が高く、先端医療等医療密度のきわめて高い医療の提供	[一般 7] 7:1 平均在院日数 18 日以内 [一般 10] 10:1 平均在院日数 21 日以内	7:1 在宅復帰率 75%以上 7:1、10:1 90 日超入院患者に係る特定入院基本料廃止	2025 年には 18 万床
急性期機能	一般急性期	一般的な急性疾患、外科的処置を要する疾患患者の受入れ	[一般 13] 13:1 平均在院日数 24 日以内 [一般 15] 15:1 平均在院日数 60 日以内		2025 年には 35 万床
(急性期後) (慢性期救急)	地域包括ケア病棟	急性期治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受入れ並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割	[地包 1、地包管 1] 13:1 夜勤 看護 2 [地包 2、地包管 2] 15:1 夜勤 看護 2 算定上限日数 60 日	[地包 1、地包管 1] 在宅復帰率 70%以上	リハビリテーションを必要とする患者に対しては 1 日平均 2 単位以上提供(但し 3 単位以上はマルメ)
回復期機能	回復期リハビリテーション病棟	脳血管疾患又は大腿骨頸部骨折等の患者に対して、ADLの向上による寝たきりの防止と家庭復帰を中心としたリハビリテーションを集中的に行うための病棟	[復り入 1] 13:1 夜勤 看護 2 [復り入 2] 15:1 夜勤 看・看補 2 算定上限日数 60～180 日	[復り入 1] 在宅復帰率 70%以上 [復り入 2] 在宅復帰率 60%以上	発症または手術後「2 カ月以内」、股関節、膝関節の神経や筋、靭帯損傷後は「1 ヶ月以内」に入院
慢性期機能	療養病棟	医療ニーズの高い長期療養患者の受入れ	[療 1] 看護 20:1 看補 20:1 [療 2] 看護 25:1 看補 25:1	[療 1] 在宅復帰機能強化加算 在宅復帰率 50%以上 病床回転率 10%以上	2025 年には 28 万床

2025 年には 26 万床